

ありがとうファンド(愛称ファンドの宝石箱)  
追加型株式投資信託/ファンド・オブ・ファンズ 分配金再投資専用

ありがとう投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)  
第304号 (社)投資信託協会会員

終わりはわかるけれども始まりはわからない

いよいよ今年も最後の月になりました。この月次レポートをお送りするのも今年が最後です。まだ年末までは時間がありますが、いずれ時が経てば年末を迎えて新しい年が始まります。これは当たり前です。

ところが、一般的に社会の変化を見ていると、終わることは大体わかりませんが始まりを見定めるのは結構難しいものです。

以前このレポートでテレビドラマ「篤姫」のなかの大奥の人たちのことを申し上げました。幕府が倒れる最後の頃には、中の人たちも「終わりが近い、あるいは終わりが来る」ということは感じていたのではないかと想像します。しかし、もし終わりが来るとして、その後どんな時代が、いつ来るのかはとても想像がつかないのではないでしょうか。

しかし、日本全体を見渡してみれば次の時代への変化はすでに起こっていたのです。

いつも申し上げているように、現代の日本にも大きな変化はいずれ訪れると思います。

そしてひょっとしたら、それはすでに始まっているのかもしれない。



アメリカの大きな曲がり角の向こう

アメリカには「投資銀行」という業種があります。別の言葉で言えば証券会社です。昔(自分の記憶では1980年代の前半だったと思います)イギリスの雑誌のある記事を人から教えてもらいました。その記事は今では手元にありませんが、内容は「投資銀行の収益性は1970年代から今に至るまで継続的に低下してきている」というものでした。つまり証券会社は儲からなくなっている、ということです。自分の理解ではそれは次のような意味です。例えば投資銀行は顧客と債券や株式の取引をします。たいしたリスクを取らないでその商品(株式や債券)を右から左に取り次ぐだけで十分に儲かっていた時代がありました。だんだん時代が変わってそのような簡単な利益は消えてきている。そういう意味です。

「なーんだ。当たり前じゃないか」

その通りです。しかしその時代にはそれがニュースだったのです。

それから20年余り経って、最近最後に残った米国の大手の投資銀行が銀行免許を取りました。つまり投資銀行(証券会社)がなくなりました。この20数年はまさに投資銀行にとっては高収益の時代でした。80年代に投資銀行の未来は暗い、いずれ終わる、と予測した人は20年早かったことになります。その20年を引き伸ばしたのが証券業界の革新に次ぐ革新でした。最近の革新には「デリバティブ」「証券化」「レバレッジ」などが含まれます。長い紆余曲折をへて、証券会社の収益の右肩上がりのトレンドはとりあえず途切れたようです。

以前のレポートにも書きましたが、金融業の拡大が止まったということはアメリカ経済にとっては大きな曲がり角です。何か大きな時代が終わった予感がします(違っているかもしれませんが)しかし、いつどんな新しい時代が始まるのか、それはまだ誰にもわからないのではないかと思います。

わかっていること、わからないこと

今回の経済危機の一つの特徴は、金融機関の危機が信用システムの危機(誰も信用できないからお金を貸さない、お金が回らない)につながり、それが経済の危機に波及するという順番で動いていることです。深刻な不況となれば金融界や証券界だけの問題ではありませんので政府の取り組み方も本格的です。しかも今回の危機は米国、欧州、日本が揃って来年の経済成長の予測がマイナスになるなど、かつてない規模の危機です。したがって対策も史上空前のものになりそうです。

すでに金融政策では1年前までのインフレ懸念や利上げの方向から180度の方向転換が行われています。各国の中央銀行の利下げに次ぐ利下げで世界的な金利水準は記録的なスピードで下がっています。一方景気に直接影響を与えるために財政支出を行って需要を作り出す政策も次々に発表されています。世界最大の経済大国であるアメリカでは大統領の交代のためにまだその詳細は発表されていませんが、来年の1月に新大統領が就任した後、時を置かずに発表されるであろう財政支出の規模は極めて大規模なものになることが予想されています。人によっては「必要であればいくらでも」と表現する人もいます...

さて、運用の立場からするとこのような「超金融緩和」や「巨額の財政支出による景気刺激」をどのように考えたらよいのでしょうか？

先ほど申し上げたアメリカの金融業の歴史的な変化の曲がり角の向こうにある物はまだ見えていません。金融緩和や政府の支出はすでに見えています。しかしその政策の実際の効果はまだ見えていません。潜在的にはとてつもない影響（景気刺激効果）を与えるかもしれない...

あるいは期待が大きいだけに膨らんだ期待に比べると失望を与える効果しか挙げないかもしれない...

これから起こる可能性のある経済現象の幅はとても大きいものです。それは大きな市場の変動を引き起こすかもしれません。

1年以上にわたって大きな変動にさらされてきた市場に関わる人々（我々です）にとっては（変動が少ないという意味で）心地が良い状態は期待しにくいようです。

しかし...

#### 長い時間軸が必要

長期投資の立場に立てば「変動」は当たり前です。長い時間の中で世の中が変動しないほうがどうかしています。いつも申し上げているように変動するからチャンスが生まれるのです。もともと市場は変動するのが当たり前でした。冒頭に申し上げた投資銀行が活躍した時代は、たまたま変動が少なく金利は長期的に低下し株価も継続的に上昇していた珍しい時代だったのです。そんな特殊な時期を除けば市場は変動して当たり前です。長期投資のように投資にかける時間軸を長く取り、例えば定期積立のようにゆっくり投資してゆくなれば慌てることはありません。



変化が大きい時代には、新しい答えを求めて原点に戻って様々な見直しが行われます。例えば日本のバブル崩壊後のデフレ対策や改革に時間がかかったことは欧米で盛んに批判されてきました。「失われた10年」は日本の政策がまずかったからだ、という訳です。いま、世界の多くの国々がかつての日本と同じような状況に置かれています。はたして日本を批判してきた国は「自分たちはうまくやるから大丈夫」と言えるのかどうか？

今年のノーベル経済学賞を受賞したクルーグマン教授は「日本への批判は一面的で、正当ではなかったかもしれない」と言っています。

いずれにせよ危機を克服するのは大きなチャレンジです。臨んで怯まない気概を持つことが求められています。そして今回のバブル崩壊から比較的遠くにいて影響が小さいはずの日本においてもそれは変わりません。世界の景色が変わってしまうとすれば、世界の中の日本の状況も全く変わってもおかしくないのです。

先ほどのクルーグマン教授の話に「ケインズが見直される」とありました。経済学者のケインズの著書には「アニマル・スピリッツ」という言葉が出てくるそうです。不透明な時代でもリスクを取って社会を変えてゆくのは野生の動物のような闘う心です。長い投資の時間軸に耐えるという意味では、それは長期投資にも必要なものだと思います。

ありがとう投信株式会社 代表取締役 村山 甲三郎

基準日 / 2008年11月28日

基準価額 6,801円  
純資産総額 48億29百万円  
受益権総口数 71億01百万口  
年率複利( ) -8.68%

期間別騰落率

1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
9.3%	38.4%	44.9%	43.7%	32.0%

「年率複利」とは、設定から現在まで運用を行った結果を、複利で換算した場合に何%でまわっていたかで表したものです。過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、また個々のお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

皆様のありがとうファンドの基準価額は、月間で5.5%下落しました(11月4日~12月1日)。

また、各組入れファンドの月間の状況は右表の通りで、同じ時期の市場の値動きは、TOPIX(東証株価指数)が3.7%、MSCI\*のWI(先進国指数)が6.5%、同じくEM(新興国指数)が7.5%、円/ドル為替は3.0%の円高となっています。

\*MSCI :モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル。世界で広く使われている株価指数を算出している会社です。騰落率はドルベースのnet指数で計算しています。

ファンド名	08/11/04	08/12/01	騰落率
ありがとう	7,293	6,892	5.5%

ファンド名	08/10/31	08/11/28	騰落率
さわかみ	9,924	9,790	1.4%
トヨタ	8,366	7,026	16.0%
社会貢献	6,964	6,874	1.3%
TMA長期投資	6,583	6,296	4.4%
NCヨーロッパ	6,554	5,969	8.9%
NCエマージング	5,795	5,625	2.9%
Alamcoハリス	5,035	4,409	12.4%

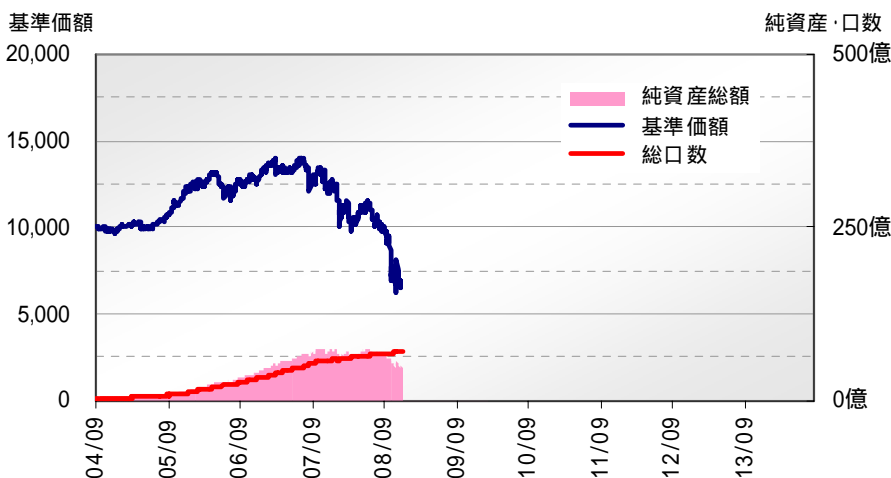
11月の市場はオバマ氏の米大統領当選に始まりました。リーマン破綻で経済問題が争点になったころからオバマ氏優勢が伝えられ、月中のG20には新大統領の出席も予想されていたから、当選早々から1月の就任を待たずに積極的な施策が打ち出されるとの期待感もありました。ところが、オバマ氏は当選後すぐには始動せず、市場は肩透かしをくらったように方向感をなくしてしまいました。危機回避は時間との競争でもありますから、もみあい弱含みとなったのは失望感の表れだったと言えるかもしれません。

しかし、月末にかけて次期大統領の周辺人事が発表されるのにあわせ、シティの救済スキームおよび追加の対策枠が総額8千億ドル規模で設定されました。先の金融安定化プログラムと合わせて1兆5千億

ドルに及びますから、問題がサブプライムにとどまるなら、一応の水準にまで整備されたこととなります。

また、もう1社市場の注目を集めているGM(ゼネラルモーターズ)についても、一定の結論が12月初旬にはできそうですし、少しずつ、訳の分からない漠然とした不安感を除かれつつあるようです。

基準価額・純資産総額の推移



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

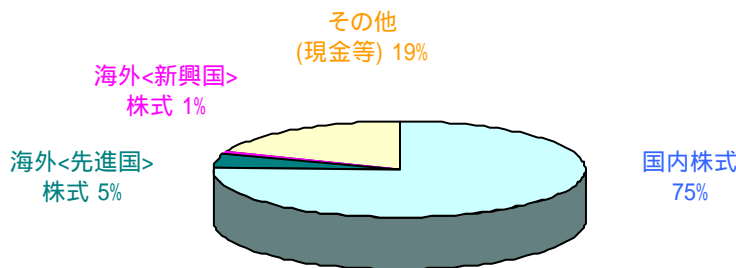
ですから、恐怖に駆られて投げ売りが殺到するようなパニック的下げ相場がくる可能性は、低くなってきたと思われます。ただし、景気悪化などに対する具体的不安は残っており、それほどひどくはないとしてもそんなに簡単には良くもならないのではないかという懷疑までは払拭されていない、今の市場環境はそんなところではないでしょうか。

こんなときは、個別銘柄の株価に関してならば、バリュー観に基づいて「売られ過ぎ」とか「割安」とかいう判断ができますから、その判断に基づいて全力で買いに行くことが可能ですし、そうすべきタイミングです。しかし、ありがとうファンドのようなファンド・オブ・ファンズでは、若干事情が異なります。なぜなら、組み入れファンドの価格自体は常に適正であって、「割安」とか「割高」ということがないからです。割安かどうかは、あくまでも各ファンドの保有している個別銘柄ごとの話です。(たとえば、『株式』が他の資産クラスよりも「割安」とであると判断しても、株なら何を買ってもいいというわけではありませんよね。)

お客様の大切な資産の運用を任されている私たちの基本は、お客様に安心をお届けすることです。ですから、今のような荒れ模様の相場環境の下では、少しでも値動きを平準化しつつ次の相場上昇は着実に取っていくために、キャッシュポジションを厚めに保っている現在の戦略が有効だと考えています。組み入れファンドが買っている銘柄を全て合わせると数百銘柄にも及びますが、これほどの環境の激変にあって、その全ての見通しに全く変更がないということは考えられません。厚めのキャッシュポジションは、そのためのバッファー(緩衝装置)と考えていただいても良いと思います。

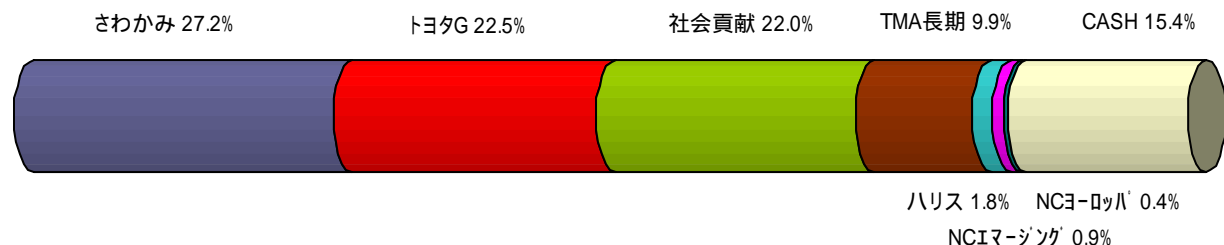
とはいえ、このままずっとキャッシュをだぶつかせておくつもりもありません。お客様が、ふと気が付くと、いつの間にかキャッシュポジションがほとんどなくなっている、そんな局面もそう遠くないかも知れません。いずれにしても、私たちは最善のパフォーマンスを目指して、これからも精進を続けてまいります。

ありがとうファンド全体(各ファンドの合計)の資産配分状況 <10月末現在>



投信企画運用部  
ファンドマネージャー  
岡 大

組入れファンドの比率 <11月末現在>



このレポート(P.1-4)の内容に連動した月次運用状況報告会を開催してまいります。今月は12月13日(土) 13:30~15:00。詳しくはセミナー案内をご覧ください。弊社投信企画運用部社員が担当します。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

P.5-6 では個別企業の記載がございますが、特定銘柄の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資の決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ここでは、ありがとうファンドが組入れているファンドを通じて投資している企業についてご紹介しています。ありがとうファンドに入れていただいている資金は、組入れファンドを通じて多くの企業に投資されています。その投資先がどんな企業なのか、皆様はご存知でしょうか？

## RECKITT BENCKISER

長きにわたって成長を続ける企業というのは、一貫した明快な経営戦略を持っているものです。歴史の古い産業であればなおさらこの特徴が際立って来ます。投資対象の選定にあたって長期的な成長性に注目するとき、経営戦略の一貫性に注目するのはそのためです。

今回取り上げるレキット・ベンキーザーは洗剤を中心とした家庭用品のメーカーですが、製品のユーザーである消費者により良い利便性を提供する、という極めてシンプルな目標を掲げ、「強いブランドをより強く」という明快な経営戦略を実践し続けている企業です。

### 明快な経営戦略

世界中で販売されているレキット・ベンキーザーのブランドは全部で 80 余りもありますが、売上の約 6 割を 18 の「パワーブランド」が占めています。パワーブランドとは、製品の市場自体に高い成長性が見込める分野で、それぞれが世界的なマーケット・リーダーとして高いシェアを占める強力なブランドです。この売上比率は 2001 年には 4 割でしたが、製品開発と広告費の投入をこの 18 のブランドに集中させる「パワーブランド戦略」が功を奏し、売上の成長が続いているのです。

それぞれのパワーブランドでは、常により高い機能を求め、新製品の投入が行われています。そのため、3 年以内に発売された新製品の比率は売上全体の 4 割近くに上ります。また、広告宣伝費が売上の 12% と、非常に思い切ったマーケティング投資がなされています。

ブランド力のある製品は利益率が高く、さらに少数のブランドに集中することによって高い投資効果が得られます。23% という非常に高い営業利益率とその効果を物語っています。

### グローバル経済の発展とともに

現在レキット・ベンキーザーの製品は世界 180 カ国で販売されていますが、その販売地域はパワーブランドを中心に着実に拡大しており、売上成長の原動力となっています。例えばシミ抜き剤の主力ブランドである「Vanish」、2000 年まではイギリスの国内ブランドでしたが、今では 57 カ国で販売され、大半の市場でトップシェアを持っています。

既存の販売地域では新製品の投入によってブランド強化を図り、機を見て新たな地域へ参入する。世界中で急速な生活水準の向上が見られる今、このようにパワーブランドの進出する地域は増えて行くでしょう。

世界的なメーカーといっても、P & G やユニリーバとは売上規模が一ケタ違います。グローバル経済の成長の果実を取り込む余地はまだたっぷりありそうです。



### 長い歴史を生きてきた老舗

1999 年に、イギリスのレキット & コルマン社とオランダのベンキーザー社が合併してレキット・ベンキーザーとなりました。歴史を辿ると最も古い事業は「コルマン」ブランドのマスタード（1995 年に売却）で、始まりは 1814 年だといえます。

その後、19 世紀の半ばまでにはベンキーザーが工業用薬品事業を、レキットが家庭用品事業を起こしていますから、優に 150 年以上を生き延びている会社です。伝統的に事業の買収・統合・売却を繰り返し、常に最強のブランド戦略を追求してきま



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したものです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

した。近年では大衆薬市場の成長性に注目し、Boots社のブランド買収によって進出を果たしています。

大衆薬事業はレキット・ベンキーザーにとって新たな挑戦とも言えるでしょう。家庭用品より遥かに高い利益率が得られる一方、販売にも製品開発にもそれまでとは違う専門性が要求されます。しかし、ユーザーである消費者により良い利便性を提供する、という共通の経営目標を貫くことによって、シナジー効果が期待できます。そして大衆薬のパワーブランドも加わって、今後更なる売上成長に貢献するでしょう。



### 日本国内では…



日本では品目はあまり多くありませんが、Boots社のブランドであったニキビ治療クリームのカlearasilはよく知られています。その他、除毛剤のヴィートや食器洗い機専用洗剤のフィニッシュが販売されています。また、昔からおなじみの薬用石鹸ミューズを今年の5月に買収しました。



日本は成熟市場でもあり、新規参入にはあまり適さない市場なのかもしれませんが、チャンスがあるとみれば進出するという世界戦略のなかでは例外ではありません。



(投信企画運用部)



主な販売品目：

衣料用シミ抜き剤  
 デリケートな繊維用洗剤  
 住居用洗剤・殺菌剤  
 手指用殺菌洗浄剤  
 食器洗い機専用洗剤  
 芳香剤  
 鎮痛剤やのど飴などの大衆薬  
 ソース類などの食品  
 など



**RECKITT  
 BENKISER**



このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したものです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

グラフはすべて組入れ時を 100 として指数化し、期間をありがとうファンド設定来で統一して表示しています。

## さわかみファンド



### 株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	2.34%
2	テルモ	4543	精密機器	1.62%
3	コマツ	6301	機械	1.54%
4	ホンダ	7267	輸送用機器	1.44%
5	デンソー	6902	輸送用機器	1.40%
6	花王	4452	化学	1.39%
7	セブン&アイ・ホールディングス	3382	小売業	1.37%
8	クボタ	6326	機械	1.36%
9	信越化学工業	4063	化学	1.34%
10	ユニ・チャーム	8113	化学	1.17%

上記比率は、純資産総額に対する比率です。

## トヨタグループ株式ファンドF (適格機関投資家専用私募)



### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	保有比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	49.88%
2	デンソー	6902	輸送用機器	15.60%
3	豊田自動織機	6201	輸送用機器	6.80%
4	アイシン精機	7259	輸送用機器	4.16%
5	豊田通商	8015	卸売業	3.59%
6	ダイハツ工業	7262	輸送用機器	3.30%
7	あいおい損害保険	8761	保険業	3.21%
8	ジェイテクト	6473	機械	2.57%
9	トヨタ車体	7221	輸送用機器	1.87%
10	豊田合成	7282	輸送用機器	1.75%

個別銘柄の保有比率は、現物株式の組み入れ = 100% とした各銘柄の比率です。

## 社会貢献ファンド (適格機関投資家専用)



### マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	コード	業種	構成比率
1	伊藤園	2593	食料品	4.0%
2	高砂熱学工業	1969	建設業	3.4%
3	オリンパス	7733	精密機器	3.2%
4	ファナック	6954	電気機器	3.2%
5	キーエンス	6861	電気機器	3.1%
6	クラレ	3405	化学	3.0%
7	堀場製作所	6856	電気機器	3.0%
8	サトー	6287	機械	2.9%
9	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	2.9%
10	キヤノン	7751	電気機器	2.8%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

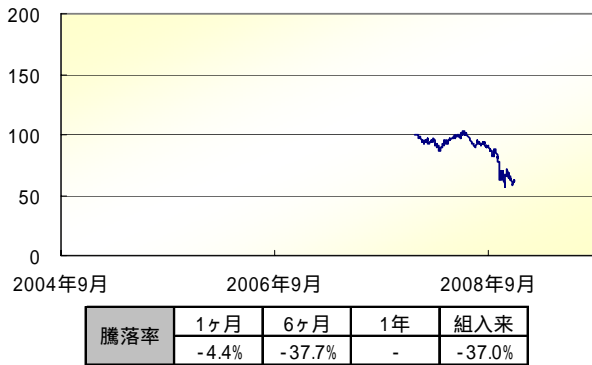
## 朝日 Nvest グローバル バリューストックオープン

2008年11月末現在、組み入れを行っていません。

このファンドは、同じく組み入れファンドの一つである Alamco ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 と同様に、ハリス・アソシエイツ社の指図により運用されています。両ファンドについては、Alamco ハリスが大型株中心の私募という差異はあるものの、割安株に着目した投資という観点は共通であり、今後の相場展望およびコストの違い等を考慮し、2008年9月に全額を Alamco ハリスに乗り換えました。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

## TMA 長期投資ファンド (適格機関投資家限定)

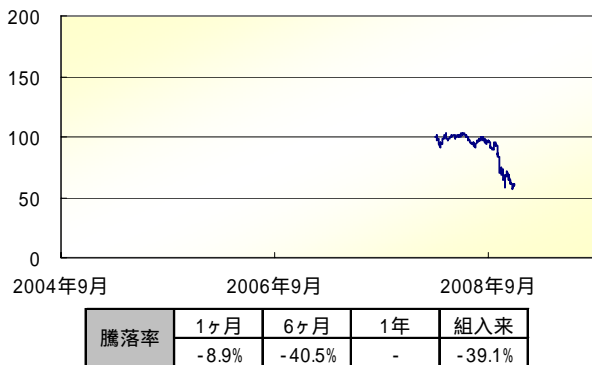


## マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	業種	比率
1	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	4.2%
2	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	3.5%
3	花王	日本	家庭用品	3.4%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテック・ライフ	3.4%
5	デルモ	日本	医薬品・ヘルスケア	3.1%
6	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL A	アメリカ	保険	3.0%
7	トヨタ自動車	日本	自動車	2.9%
8	信越化学工業	日本	基礎素材	2.8%
9	セコム	日本	サービス	2.4%
10	シマノ	日本	機械	2.4%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A (適格機関投資家限定)

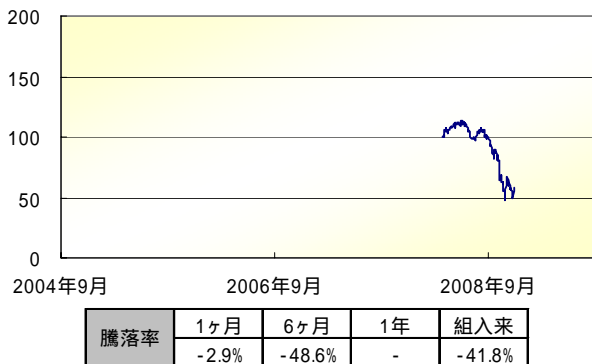


## マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	GROUPE DANONE	フランス	生活必需品	8.7%
2	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	8.0%
3	HENNES & MAURITZ AB	スウェーデン	一般消費財・サービス	5.8%
4	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	5.5%
5	RECKITT BENCKISER	イギリス	生活必需品	5.1%
6	SYNTHES INC	スイス	ヘルスケア	5.0%
7	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	4.8%
8	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	4.3%
9	SAP AG	ドイツ	情報技術	3.7%
10	VEOLIA ENVIRONNEMENT	フランス	公益事業	3.7%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A (適格機関投資家限定)

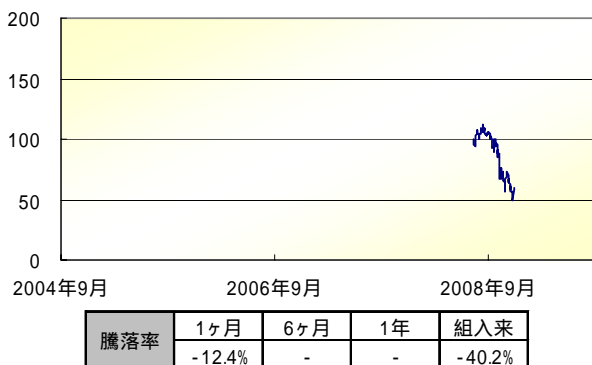


## マザーファンド株式組入上位10銘柄

	銘柄	国	MSCI業種分類	比率
1	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	5.0%
2	TAWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	3.8%
3	CHEUNG KONG HOLDINGS	香港	金融	3.6%
4	RUSHYDRO	ロシア	公益事業	3.5%
5	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	3.5%
6	IMPALA PLATINUM HOLD	南アフリカ	素材	3.4%
7	SOUZA CRUZ SA	ブラジル	生活必需品	3.3%
8	RESORTS WORLD BHD	マレーシア	一般消費・サービス	3.2%
9	ITC LTD	インド	生活必需品	3.2%
10	AMDOCS LTD	イスラエル	情報技術	3.0%

比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

## ALAMCO ハリス グローバル バリューストックファンド 2007 (適格機関投資家専用)



## マザーファンド株式組入上位10銘柄

(組入れ銘柄は2008/10/31現在)

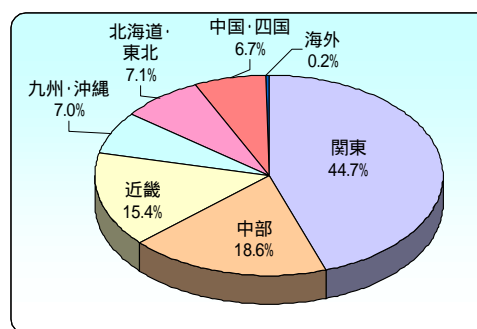
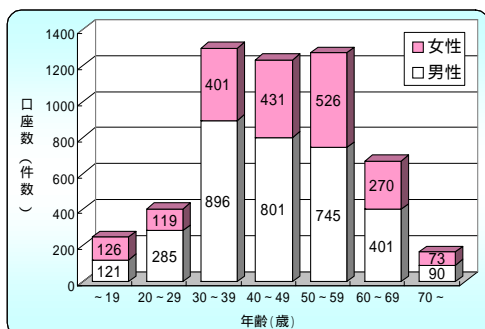
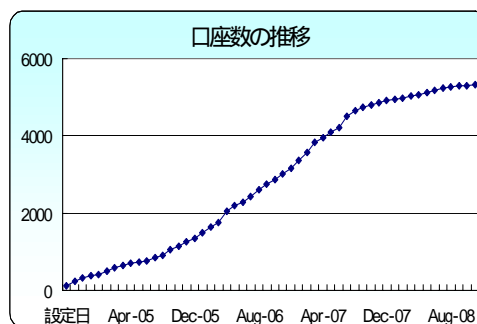
	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	7.1%
2	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	5.3%
3	HEWLETT PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハード・機器	4.9%
4	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	スイス	各種金融	4.6%
5	DELL INC	アメリカ	テクノロジー・ハード・機器	4.1%
6	SCHERING-PLOUGH CORP	アメリカ	医薬品・バイオテック・ライフ	4.1%
7	CARNIVAL CORP	アメリカ	消費者サービス	4.0%
8	MERRILL LYNCH & CO	アメリカ	各種金融	4.0%
9	ADECCO SA-REG	スイス	商業・専門サービス	3.9%
10	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテック・ライフ	3.8%

構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

このレポートは、ありがとうございますファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとうございます投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

口座数の推移と年齢・地域分布

顧客数	前月比
5,325名	+22名
個人比率	毎月購入比率
99.2%	48.6%



毎月購入サービスのスケジュール

今後の毎月購入サービスになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取り扱いとなりますので予めご了承下さいませようお願い申し上げます。

	新規申込・口座変更	金額変更・中止	引落日	ファンド購入日 (約定日)
平成21年1月分	受付終了	12月19日 (金)	1月6日 (火)	1月19日 (月)
平成21年2月分	1月5日 (月)	1月27日 (火)	2月6日 (金)	2月19日 (木)

2008年12月22日～12月30日のご解約お申込みにつきまして

2008年12月22日15時から2008年12月30日11時の期間中に保有ファンドをご解約されますと受渡日は2009年1月5日以降となりますが、特定口座開設前のご注文となるため、特定口座でのお取扱いにはなりませんのでご注意ください。当該期間中のご解約にて売却益が出た場合、源泉徴収されませんので、**お客様にて確定申告をしていただく必要がございます**。なお、年末年始の営業日は以下の通りとなります。

年内営業：2008年12月30日 (半日営業のため売買注文は午前11時まで)

年始営業開始日：2009年1月5日 (半日営業のため売買注文は午前11時まで)

特定口座開設依頼書をお送りいただきましたお客様へ (未提出の方は12月20日が期限です！)

既にご案内の通り、来年から特定口座のお取扱いを開始致します。それに伴い多くのお客様より特定口座開設依頼書等をご返送いただいております。期限の12月20日までに弊社必着分につきましては、到着次第順次手続きを進めております。( **手続き上の不備で再提出をお願いしているお客様は、お早めにご返送ください。** ) 年明け特定口座登録完了のご案内をお送りいたします。なお、到着分については全て正確に手続きを進めさせていただいておりますが、既にお申込みのお客様で弊社への到着・登録状況の確認をされたいお客様におかれましては、お電話にて対応させていただいておりますのでカスタマーサービス部までお問合せください。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

誰かに教えたいくなる「社名」の由来 / 講談社+ 文庫 本間之英(著)

定価: 本体 648 円(税別)



長期投資を語るときやはり株式投資を抜きには語れない。

当文庫は、2002年に刊行された『誰かに教えたいくなる 社名の由来』から、120社をよりぬき、加筆・修正したものであるが、誰もが知っている有名企業の社名の由来について詳しく紹介している。社名に込めた創業者の夢や願いや現在に至るまでのその企業の歴史的な展開と社名の変遷について知ることができる。著者は「身のまわりでありながら、どこか遠くに感じられる有名企業の命名の経緯、社名の由来を通じてその会社をより身近な“隣人”として再発見することに役立ててもらえれば」と述べているが、まさに本書を読むことによって、長期投資したくなるような企業との出会いのきっかけになるだろう。

株式投資をしている方、これからしようと思っている方には是非本書を一読することをおすすめする。  
(ありがとう投信 長谷俊介)

『ありがとうファンド』の概要

商品分類	追加型株式投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
決算と収益分配	毎年8月31日(休業日の場合は翌営業日)
お申込単位	1万円以上1円単位
お申込価額	取得申込受付日の翌々営業日の基準価額
ご解約単位	1円以上1円単位
ご解約価額	解約請求受付日の翌々営業日の基準価額
委託会社 (販売会社)	ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号(社)投資信託協会会員
受託会社	日興シティ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第25号(社)日本証券業協会会員

『ありがとうファンド』にかかるリスク

主なリスク 「価格変動リスク」「流動性リスク」「ビジネスリスク」「為替リスク」「カントリーリスク」「ファンド資産の流出によるリスク」

当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、**損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。**ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますしファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また**元本及び利息の保証はなく預金保険の対象でもありません。**

『ありがとうファンド』にかかる手数料等

申込手数料	お申込にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。
換金(解約)手数料	換金手数料はありません。
信託財産留保額	信託財産留保額ははありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.945%(税込0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.6%±0.3%(概算)]
その他の費用等	当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。 当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。



## 『目論見書読みこなし講座』 ～ 確認ポイント徹底解説～



今回の月次レポート連動セミナーでは、投資信託（ファンド）を購入する際には必ず受け取る目論見書を取り上げます。

ところで、皆さん目論見書読みこなせていますか？毎月新しいファンドが何本も設定されて、新聞や雑誌にも広告が掲載されていますが、正直言ってどんなファンドなのかよくわからないという経験はありませんか？

この『目論見書読みこなし講座』では、そんなあなたの為に目論見書を読みこなせるように確認ポイントを徹底解説いたします！

目論見書のここだけは押さえよう！

### 1. ファンドの分類、性格、投資方針をチェック

特にファンドの目的、仕組み、投資対象をよく理解しよう！

### 2. 投資リスクをチェック

どんなリスクがあるのか必ず確認しよう！

### 3. 計算期間をチェック

1年決算型か毎月決算型かそれ以外か確認しよう！

### 4. 分配金の受け取り方法をチェック

分配金受取型か再投資型か無分配型か確認しよう！

### 5. 手数料と税金をチェック

手数料等は買付時、保有時、売却時の3点を確認しよう！

### 6. 運用状況、運用実績を見て今までの運用経過チェック

基準価額や純資産額の推移から傾向を読み取ろう！

### 7. 申込（買付）、換金（売却）手続きをチェック

申込・換金単位及び換金に要する日数を確認しよう！

#### <お知らせ>

目論見書が改訂されましたので、最新版を皆様に送りしております。お手元に届きましたらご確認の程よろしくお願い致します。

ファンドを詳しく理解しよう！

### 1．まずは商品分類をチェック

単位型（ユニット型）／追加型（オープン型）

株式投資信託／公社債投資信託／ETF（上場投資信託）

ファンドオブファンズ／ファミリーファンド（マザー・ベビー）

### 2．投資対象をチェック

資産クラス： 株式、債券、不動産、コモディティ

地域： 日本、海外（先進国／新興国）

### 3．運用方法をチェック

アクティブ運用／パッシブ運用

実際の目論見書をいくつか見てみよう！

#### 1．ありがとうファンドの場合

#### 2．毎月分配型の外債ファンドの場合

#### 3．株式、債券等に投資するバランス型ファンドの場合

#### 4．ファミリーファンド方式のファンドとファンドオブファンズの場合

#### 5．インデックスファンドとETF（上場投資信託）の場合

自分で調べてみよう！～情報収集の仕方～

目論見書は各運用会社のホームページに掲載されているので誰でも閲覧できます。

また、同様の内容は EDINET（『金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム』）上にも有価証券届出書として掲載されていますのでそちらでも閲覧することができます。

【投資信託運用会社一覧 <http://www.toushin.or.jp/cgi-bin/framed.cgi?28>】

【EDINET 閲覧用 <http://info.edinet-fsa.go.jp/>】

今回の講座では上記の内容について解説していく予定です。また、2009年からは投資信託協会が定める商品分類方法が変更されるので、「**新商品分類**」の概要についても解説していく予定です。初めて投信を購入される方や目論見書を読みこなしたいと思っている方は奮ってご参加下さい。お待ちしております。

（ありがとう投信 長谷俊介）

---

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。